

胃腸炎
による

おうと げり 嘔吐や下痢の方へ

ウイルス（ロタウイルス・ノロウイルス）や細菌（サルモネラ・大腸菌・カンピロバクター）により胃腸炎が起こり、下痢や嘔吐（感染性胃腸炎）を引き起こします。

ウイルス性腸炎

発生時期：11月～4月の寒い時期に流行します。

原因：ロタウイルス・ノロウイルス

症状：発熱・腹痛・嘔吐・下痢(血便・粘液便)

潜伏期間：1～2日※感染力は強いが4日～1週間で良くなることが多い。

細菌性腸炎

発生時期：春～夏・秋

原因：牛肉・鶏肉・生卵などいわゆる食中毒
(大腸菌・カンピロバクター・サルモネラ)

症状：発熱・腹痛・嘔吐・下痢

潜伏期間：早くて1日～遅くて7日※4～5日で次第に良くなります。

～気を付けること～ こまめに お水 水分をとろう

- ①脱水に注意!! とにかくこまめに少量ずつ水分を摂りましょう(1口20～30ml)
- ②下痢が落ち着いてきてから消化の良いものを少量ずつ口にしましょう
- ③吐物・排泄物はウイルスや細菌が潜んでいるため、**感染力が強いです!**
吐物や下痢の取り扱いには十分注意し、手洗い・消毒(次亜塩素酸ナトリウム)を徹底し感染拡大を防ぎましょう!!

～医療機関受診の目安～

- ◎連続して嘔吐・下痢を繰り返し、水分が全く摂れない
- ◎明らかにぐったりして脱水症状が著しい
- ◎おしっこが出ない
- ◎唇が渇き、顔色が悪い
- ◎高熱・腹痛・血便が続くとき

